

児童が新聞に親しみ、読解力を高めるためのN I E実践

～授業実践や日常での新聞活用を通して～

えびの市立飯野小学校
教諭 神田 佳奈

1 はじめに

本校はこれまで児童の作品や作文を新聞に投稿したり、新聞を活用した小中高連携の取組を行ったりしてきた。しかし家で新聞をとっていないという児童や、普段新聞を読まないという児童も多く、児童が新聞に関わることは一過性のものとなっている。

そこで、N I Eの取組を通して、まずは児童が新聞に親しむことをねらいとした。新聞に親しむ中で社会的事象に興味・関心をもたせたり、読解力を向上させたりすることができると考えた。

本校は平成28年度よりN I E実践指定校となり、本年度が実践1年目となる。児童の身近に新聞を置くことや、授業だけではなく、日常生活の中でも新聞を活用する方法を考え実践した。

2 学校としての取組

(1) 新聞使用のローテーションについて

新聞は10月、11月、12月、2月の4ヶ月間、毎月6社から提供を受けた。毎日5年生と6年生で3社ずつ分け、新聞社は1週間ずつ交替した。届いた新聞は、各学年の廊下に置き、児童がいつでも読めるようにした。



【廊下に置いた新聞】

(2) 新聞ストッカーの設置

使用した新聞を再利用できるように、新聞ストッカーを設置した。設置場所は図書室横の多目的ホールとし、どの学年の児童、教師も新聞を読んだり、利用したりできるようにした。



【新聞ストッカー】

3 実践事例

(1) 新聞切り抜きコーナーの設置

新聞系の児童が、テーマを決めて約1ヶ月テーマに関連する記事を集め、まとめるという活動を行った。階段の掲示板に新聞切り抜きコーナーを設け、まとめたものを掲示した。新聞系の児童は、その時話題になっている出来事や、他の児童にアンケートをとって気になる人が多かったニュースを取り上げて記事集めを行った。



【切り抜き新聞コーナー】

(2) 教室での新聞活用

掲示係の児童が、各新聞の4コマ漫画を切り抜き、教室に掲示した。毎日簡単にでき、他の児童も興味があるものということで始めた。

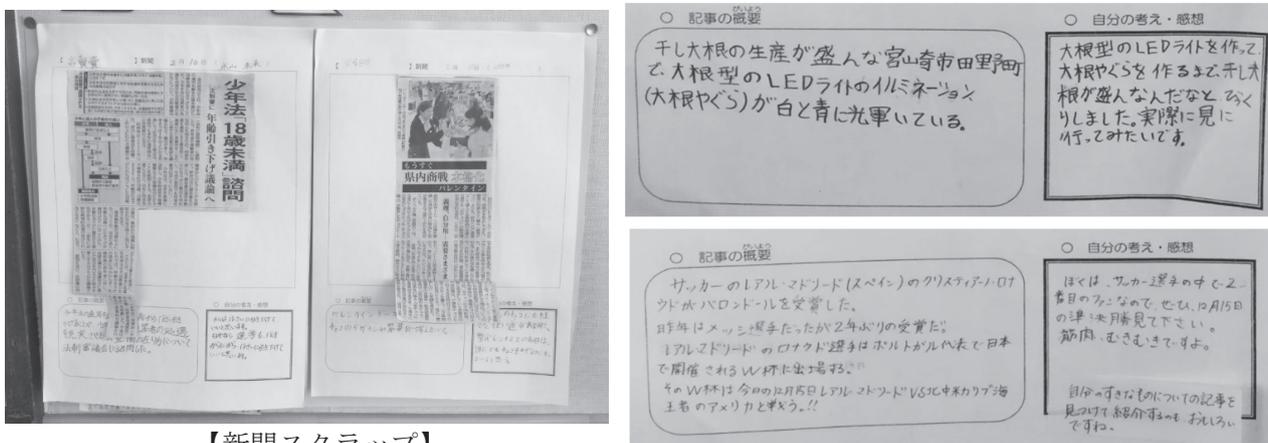
また、新聞係の児童が新聞の中から気になる記事を1つ切り抜き、毎日掲示するようにした。新聞を読むのが苦手だという児童も、そこに掲示された記事には目を通すようになった。



【教室の掲示物】

(3) 新聞スクラップの作成

学級の児童が1人ずつ順番に新聞スクラップを作成し、教室に掲示した。新聞スクラップは、自分の気になる記事を切り抜いて貼り、その下に記事の概要と感想を書くようにした。個人で気になるものを選ぶため、内容も宮崎県のこと、世界のこと、芸能、スポーツなど多様だった。



【新聞スクラップ】

【記事の概要と感想】

(4) 授業実践

第6学年で、総合的な学習の時間「えびのの今と未来」という単元と、国語「町の幸福論」という単元の2つを関連させ、新聞を活用した授業を行った。

(ア) 内容について

○ 総合的な学習の時間「えびのの今と未来」

えびのの歴史から学んだことや現在のえびのの様子から課題を見つけ、えびのの未来のためにできることを考える。

○ 国語「町の幸福論」

町づくりに関する情報や資料を集め、資料を効果的に活用してプレゼンテーションを行う。

(イ) 授業の実際

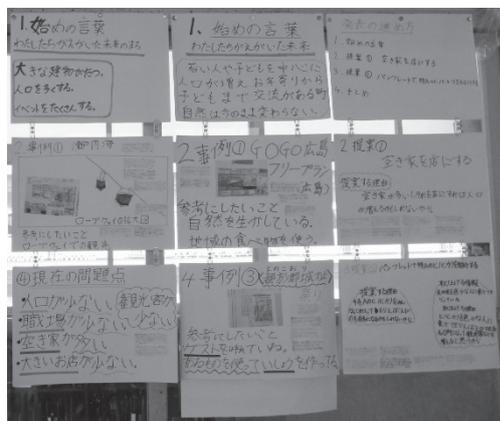
- ① 地域振興のために、各都道府県や市町村がどのような取組をしているかを新聞で調べた。
- ② グループごとにテーマを決めて関連する記事を切り抜き、模造紙に貼ってまとめた。テーマは産業、観光、食品、伝統・文化、イベントとした。
- ③ 模造紙にまとめたものを掲示し、えびの市の町づくりのために参考にできそうな記事を探す活動を行った。見つけた記事は、参考資料としてプレゼンテーションに活用した。
- ④ 自分で調べたことや新聞記事を活用して発表原稿を作り、プレゼンテーションを行った。



【テーマごとに記事を切り抜いて貼る児童の様子】



【模造紙にまとめたものと記事探しをする児童の様子】



【プレゼンテーションの資料と発表する児童の様子】

(5) 小中高一貫教育の取組

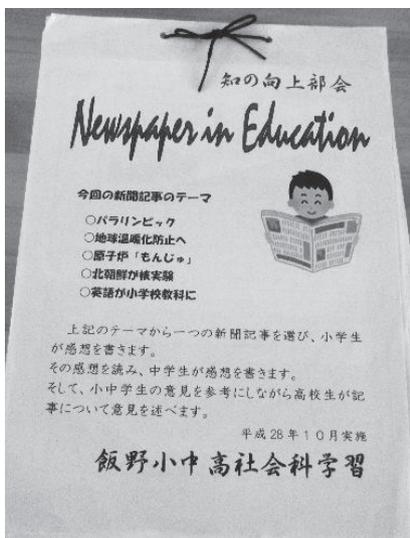
飯野小学校、飯野中学校、飯野高校は小中高一貫教育として様々な取組を行っている。その中で社会科部は、新聞を使って次のような活動に取り組んでいる。

(ア) 対象

小学6年生、中学2年生、高校3年生

(イ) 活動内容

教師が5つの記事を選んで6年生の児童に渡し、児童が記事に対する感想を書く。それを受けて、中学生が新聞記事と小学生の感想に対する感想を書く。さらに、高校生が新聞記事と小中学生の感想に対する感想を書く。それをまとめて冊子にし、小中高それぞれの学校に置く。小学生にとっては、自分の書いた感想に対して中高生から意見をもらい、多様な考えに触れることができた。



枠を作り、上段から新聞記事、小学生の感想、中学生の感想、高校生の感想となっている。

【新聞を使った小中高一貫教育の取組】

4 成果と課題

(1) 成果

- 新聞を読む児童が増えた。
- 児童が世間のニュースに関心をもつようになった。
- 新聞を授業に生かすことで、多様なものの見方や考え方があることを知った。
- 新聞スクラップを作成する際に記事の概要を書く活動を行うことが、読解力の向上につながると思える。

(2) 課題

- 新聞の有効な活用方法をもっと学ぶ必要がある。
- 全校で取り組めるような活動を提案する必要がある。
- 古新聞の効果的な活用方法を考える必要がある。
- 新聞に親しみ、主体的に活用しようとする児童を育成するための取組を工夫していく必要がある。